

家庭はすべての教育の**原点**であり、
愛情による**絆**で結ばれた場であり、
常に、子どもの**心**のよりどころとなるもの(ところ)です。

子どもたちは、家庭は「家族みんなが楽しく過ごす場所」であることを望んでいます。
家族が意識的に協力し合い、子どもにとって心安らぐ居場所になっているかどうか、家庭生活を見つめ直し、安らぎのある楽しい家庭をつくりましょう。

～ 安らぎのある楽しい家庭をつくるために ～



ポイント・その1…親の笑顔が子どもの笑顔をつくる

親のイライラは子どもにも伝わっていくものです。
大変な子育てだからこそ、自分の時間をつくり、心を健康に保つことが大切です。夫婦で助け合ったり趣味を楽しんだり、また、育児サークルなどに参加したりして、リフレッシュする時間をつくりましょう。

ポイント・その2…子育ては家族みんなで

子育ては母親の仕事、そう思っている父親は要注意！
子育ての主体は、父親と母親の双方です。共に子育てをする喜びを感じながら、共に親として成長していく必要があります。
そのためには、家族がお互いのことを思いやり、家事や育児を分担・協力し合うことが大切です。



ポイント・その3…親子のコミュニケーションが大切

夫婦の間、親子の間での会話を増やしていくことが、家庭づくりのすべての基礎になります。
特に、子どもが小さいうちは、「おんぶ」や「抱っこ」、「抱きしめる」、「頬ずり」、「なでる」などのスキンシップや、「笑う」、「話しかける」などのコミュニケーションを積極的にとることが大切です。

ポイント・その4…一人で悩まず、前向きに子育てしよう！

様々な悩みなどは、一人で抱え込まず、親や友人の協力を得たり、地域の相談窓口や育児サークルといった、子育てを応援・サポートしてくれるシステムなどを積極的に活用しましょう。
また、子どもが成長するにつれ、難しい問題も出てきたりします。そういうときは迷わず、学校の先生、スクールカウンセラー、地域の家庭教育の相談窓口、児童相談所などの専門家に相談しましょう。

